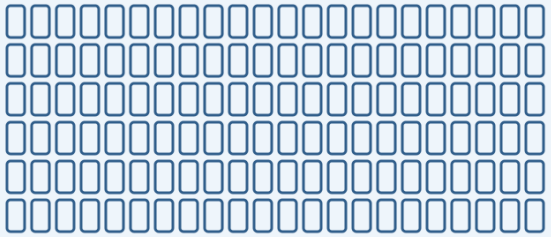
大規模言語モデルの「大規模」とは

大規模言語モデルは、何が「大規模」なのだろう

学習に使う文章の量

小さなモデル

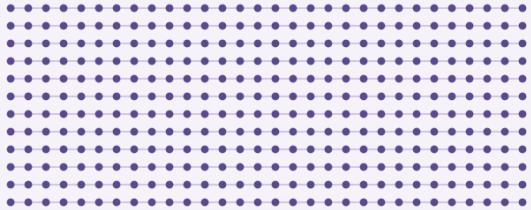
大規模なモデル



モデルの中の数（パラメーター）

小さなモデル

大規模なモデル



学習に使う計算の量

小さなモデル

大規模なモデル



どれも、小さなモデルとは桁ちがいに大きい（実際の数は年々変わるので、図では出さない）

大きくすると

- いろいろな作業を、指示だけでこなせるように
  なってきた（翻訳・要約・質問への答えなど）
- ことばの使い方が、より自然になった
- それでも、まちがえることはある（ハルシネーション）

大きいことの課題

- 学習と利用に、多くの電気と費用がかかる
- つくれる組織が限られる
- 何を学んだかが見えにくい

→ 小さなモデルを工夫して、端末の中で動かす取り組みもある

※ 模式図。絵の大きさは比べるための目安で、実際の数の比ではない。